

授業科目名	【G】 教養演習Ⅰ(野外実習)	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2		
	【H】 教養演習Ⅰ(野外実習)			【H】1		【H】2		
	【I】 教養ゼミⅠ(野外実習)	選 択 必 修		【I】1		【I】2		
科目区分	基本科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	オムニバス							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	木更津及び周辺地域における地域巡検と自然体験			担当者	後藤・酒本・榎本・青柳			
授業概要	【概要】	木更津は古くから港町として栄え、歴史的・文化的に重要な史跡や名刹が点在すると共に、海と山に囲まれた自然豊かな地域である。この授業では、学内での講義と学外での実習(巡検、トレッキング等)を通して、地域社会の自然、歴史、文化、産業に触れて教養を高めると共に、野外活動を通して、集団行動の円滑な実施に必要な能力を修得することをねらいとする。						
	【到達目標】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木更津および周辺地域の自然、歴史、文化、産業等を学び、地域への理解を深める。 2. 自然体験を通じて、自然とヒトとの共生について理解し、循環型社会について理解を深める。 3. 他者と協力して集団行動をすることができる。 4. 実習期間中に習得した知識・技能を日常生活において実践することができる。 						
履修条件	集団行動が可能な者。また夏季の期間に潮干狩りや山のトレッキングを行うことがあるため、体調を整えて参加できる者。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連	フレッシュマン・セミナーⅠ							
教科書	適宜資料を配布する。							
参考書	授業内で指示する。							
評価方法	受講・授業態度(60%)、振り返りレポート(40%)に基づき総合的に評価する。							
フィードバック方法	講義及び野外活動時においてコメントする。							
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容をよく理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、不足がある場合にはその程度により「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度により「D」または「E」、野外活動を欠席するなど判定不能な者は「F」とする。							

授業 科目名	【G】	教養演習Ⅰ（野外実習）	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	教養演習Ⅰ（野外実習）	選 択 必 修		【H】1		【H】2
	【I】	教養ゼミⅠ（野外実習）			【I】1		【I】2
授業内容	<p>1. 事前指導 ①オリエンテーション ②木更津の歴史と文化</p> <p>2. 地域巡検 ①木更津駅周辺、もしくは木更津駅～清和大学間の巡検 【昨年の実施例】 八剱八幡神社、證誠寺、光明寺、選擇寺 【過年度の実施例】 金鈴塚古墳、木更津市郷土博物館金のすず、旧安西家住宅 ②木更津及び周辺の地域及び施設の巡検 【昨年の実施内容】 i 金田みたて海岸・里海のプログラム(地理・生物に関する講義、地引網漁体験等) ii KURKKU FIELDS:里山のプログラム(循環型社会に関する講義、施設内見学、農業体験等) iii 海上自衛隊館山航空基地(歴史・施設・組織等に関する講義、見学等) 【過年度の実施例】 ・養老溪谷、木更津少年自然の家 ・赤山地下壕及び掩体壕(館山)、東京湾の海堡(富津) ・日本製鉄東日本製鉄所君津地区、君津市漁業資料館 ・東京湾アクアライン技術資料館「うみめがね」(木更津)、袖ヶ浦市立郷土博物館 ・黒崎播磨君津営業所 ・千葉県内の自衛隊基地の見学 ※関係組織との兼ね合い等により、昨年度のものから内容を変更することがある。</p> <p>3. 事後指導 ①野外実習の振り返り ②まとめ</p>						
予習内容	<p>授業で指示のあった資料を熟読する。 予習は各90分程度を目安とする。</p>						
復習内容	<p>授業及び野外活動で学んだ内容について振り返る。 復習は各90分程度を目安とする。</p>						
その他	<p>・通常講義期間に実施する「教養演習Ⅰ」と同時履修を認める。 ・野外活動に適した服装、持ち物等は各自で事前に準備すること。 ・野外活動の内容は天候や社会情勢等を考慮して決定する。なお、受講希望者数が募集要項の定員に満たない場合は開講しない場合もある。</p>						